

日本多施設共同コホート研究 (J-MICC Study)

平成 26 年度第 2 回全体会議 議事録

日時：平成 26 年 12 月 13 日 (土) 12:10～17:40

場所：名古屋大学医学部 基礎棟 3 階 講義室 1

1. 倫理審査実施状況について

主任研究者より、伊賀コホートの J-MICC 連合参加、山形大学との共同研究実施、J-MICC 研究組織構成員の所属変更などについて、2014 年 12 月 11 日に愛知県がんセンターの倫理審査委員会で承認されたことが報告された。

2. 研究進捗状況について

中央事務局 (若井) より、ベースライン調査および第二次調査について、平成 26 年 12 月現在の研究協力者の状況 (ベースライン調査、第二次調査)、および中央事務局保管の生体試料数が報告された。

3. 共同研究促進委員会からの報告

中央事務局長より、共同研究促進委員会のこれまでの活動実績について報告がなされた (照会 10 件、共同研究先となるコホート研究実施グループの紹介 4 件)。

4. ベースライン調査結果 (概要) および出版について

主任研究者より、J-MICC 研究のベースラインデータを確定させた後の集計結果出版に向けて話が進んでいると報告され、出版に際しては主に調査票情報について各コホート研究実施グループに分担執筆をお願いし、来年秋ごろの出版を計画しているとの説明がなされた。

5. 追跡調査について

中央事務局 (若井) より、死亡小票閲覧のルールとして 2 年に 1 回行うことが決まっているが、新規閲覧申請と継続使用の申請を兼ねるために、毎年どこかの地区については新規閲覧申請をしたことが説明された。中央事務局へのデータ提出は、電子媒体で規定の最新フォームを使用するよう依頼がなされた。

6. エンドポイント別グループ (循環器疾患、糖尿病など) について

中央事務局 (若井) より、がん以外の生活習慣病罹患をエンドポイントとした研究グループについて、循環器疾患・糖尿病に関し、共同研究に向けて年 1 回程度ワーキンググループを開催することを 9 月 19 日の追跡調査ワーキンググループで提案し論議したことが報告された。

7. 第二次調査の今後の予定について

とくになし (前回全体会議で今年度の予定を確認済のため)。

8. 第二次調査のデータ入力、生体試料提出について

中央事務局（若井）より、ベースライン調査に引き続き、第二次調査のデータ提出に向けて準備を進めるよう依頼がなされた。

9. 食物摂取頻度調査票の妥当性・再現性検討について

食事調査ワーキンググループ（今枝先生）より、食物摂取頻度調査票（FFQ）の再現性・妥当性に関する研究の進捗状況が報告され、ほぼ計画通りの性年齢、季節、曜日分布のデータが得られたことが述べられた。

10. データ・生体試料保管の災害対策

中央事務局（若井）より、災害に備えた生体試料、データの保管体制が報告された。

11. 論文作成・学会発表の進捗状況

中央事務局（川合）より、J-MICC 研究発足よりこれまで10年間の業績（論文、学会発表）すべてが報告された。

12. 理研で遺伝子型を決定しての横断研究の進捗について

遺伝子多型横断研究ワーキンググループ（浜島）より、理化学研究所で遺伝子型を決定しての横断研究（第1回および第2回測定分）の論文作成状況が報告された。

13. Genome scan による、バイオバンク・ジャパンとの共同研究について

中央事務局（若井）より、GWAS データの活用ルールが運営委員会で決定したことが報告され、研究テーマの募集方法などが説明された。

14. ホームページ、メーリングリストについて

中央事務局（内藤）より、J-MICC 研究のホームページのリニューアルについて説明がなされた。また新たにインタビュー企画として、来年からプロのライターとカメラマンが各コーホート研究実施グループを回るのを協力をお願いしたいとの依頼がなされた。

15. 慶應義塾大学 鶴岡メタボロームコホートの研究について

慶應義塾大学より、鶴岡メタボロームコホート研究の現状の概要が説明された。

16. 山形大学 分子疫学コホート研究について

山形大学より、山形県コホート研究について、現状の概要が説明された。

17. 東北大学 東北メディカル・メガバンクの研究について

東北大学より、東北メディカル・メガバンクの趣旨について説明された。

18. いわて東北メディカル・メガバンクの研究について

岩手医科大学より、いわて東北メディカル・メガバンクの現状の概要について説明がなされた。

19. コーホート研究実施グループの調査進捗状況

各コーホート研究実施グループより、①第二次調査の実施状況または準備状況、②追跡調査の実施状況（死亡、がん罹患、その他）、③理研で遺伝子型を決定しての横断研究の進捗状況、④オーダーメイド医療の実現プログラムとの共同研究による GWAS データの解析予定、⑤独自研究の進捗状況、⑥生体試料、データの提供や共同研究の実績、⑦書類・データ・生体試料保管の災害対策などが報告され、質疑応答が行われた。

20. その他